

10/8 (Fri.) 7:00 P.M.
Kofushi Sogoshimin Kaikan

- Kummer : Duo
Vc. Young-Chang Cho / Ulrike Schäfer
- Menotti : Suite
Vc. Young-Chang Cho / Christoph Richter Pf. Kyoko Hashimoto
- Piatti : Serenade D-major
Vc. Christoph Richter / Ulrike Schäfer Pf. Kyoko Hashimoto
- Haydn : Divertimento
Vc. Ulrike Schäfer / Christoph Richter / Young-Chang Cho
- Popper : Requiem op.66 for 3 Cellos and Piano
Vc. Christoph Richter / Ulrike Schäfer / Young-Chang Cho Pf. Kyoko Hashimoto
- Klengel : Variations op.15
Vc. Nathaniel Rosen / Young-Chang Cho / Ulrike Schäfer / Christoph Richter

10/9 (Sat.) 6:00 P.M.
Makioka Chominbunka Hall

- Papini : Quartet for 4 Violas
- Shulman : Night and Ancora 2 Episodes for Viola Quartet
Va. Charles Castleman / Toby Hoffman / Kirsten Johnson / Jeroen Woudstra
- Bach, J. S. : Brandenburg Concerto No.6 B flat-major BWV.1051
Va. Charles Castleman / Toby Hoffman Va. (Viola da Gamba) Kirsten Johnson / Jeroen Woudstra Vc. Christoph Richter Cb. Hiroshi Tanaka
- Bach, J. S. : Chaconne D-minor (Cello Quartet)
Vc. Young-Chang Cho / Christoph Richter / Ulrike Schäfer / Nathaniel Rosen
- Popper : Polonaise de Concert
- Rossini : Barber of Seville: Overture
- Prokofiev : March from Love for Three Oranges
- Prokofiev : Scherzo Humoresque op.12-9
Vc. Nathaniel Rosen / Young-Chang Cho / Ulrike Schäfer / Christoph Richter

10/11 (Mon.) 6:30 P.M.
Makioka Chominbunka Hall

- Schuman : Quartet for Piano and String Trio op.47
Vn. Takaya Urakawa Va. Kirsten Johnson Vc. Christoph Richter Pf. Kyoko Hashimoto
- Franck : Quintet for Piano and Strings F-minor
Vn. Charles Castleman/Koenraad Ellegiers Va. Toby Hoffman Vc. Christoph Richter Pf. Kyoko Hashimoto
- Dvořák : String Quintet No.3 E flat-major op.97
Vn. Charles Castleman / Koenraad Ellegiers Va. Toby Hoffman / Kirsten Johnson Vc. Nathaniel Rosen

10/13 (Wed.) 7:00 P.M.
Yamanashi Shimin Kaikan

- Dvořák : Piano Quintet A-major op.81
Vn. Takaya Urakawa / Jeroen Woudstra Va. Tuba Özkan Vc. Ulrike Schäfer Pf. Richard Steinbach
- Komgold : Piano Quintet op.15
Vn. Charles Castleman / Koenraad Ellegiers Va. Toby Hoffman Vc. Nathaniel Rosen Pf. Richard Steinbach

10/16 (Sat.) 7:00 P.M.
Fuefukigawa Fruit Park

- Brahms : String Sextet No.1 B flat-major op.18
Vn. Charles Castleman / Koenraad Ellegiers Va. Toby Hoffman/Tuba Özkan Vc. Nathaniel Rosen / Ulrike Schäfer
- Tchaikovsky : String Sextet D-minor op.70 "Souvenir de Florence"
Vn. Charles Castleman / Koenraad Ellegiers Va. Toby Hoffman / Jeroen Woudstra Vc. Nathaniel Rosen / Ulrike Schäfer

※ Program may change according to the artist's needs.

'99 笛吹川国際音楽祭チケット料金表

日程	会場	入場料
10/8 (金) 7:00 P.M.	甲府市総合市民会館	(一般) ¥4,000 (学生) ¥3,000
10/9 (土) 6:00 P.M.	牧丘町民文化ホール	(一般) ¥4,000 (学生) ¥3,000
10/11 (月) 6:30 P.M.	牧丘町民文化ホール	(一般) ¥4,000 (学生) ¥3,000
10/13 (水) 7:00 P.M.	山梨市民会館	(一般) ¥4,000 (学生) ¥3,000
10/16 (土) 7:00 P.M.	笛吹川フルーツ公園 くだもの広場	(一般) ¥4,000 (学生) ¥3,000
全公演通しチケット		¥15,000

※全公演通しチケットについては下記事務局へお問い合わせください。

チケット販売

- 山梨市民会館 ●山梨市役所 ●山梨県民文化ホール ●笛吹川フルーツ公園管理事務所
- JR東日本県内各駅 ●牧丘町民文化ホール ●山日YBS情報センター ●山梨県立労働青年センター
- 岡島友の会 ●健康堂調剤薬局 各店 ●内藤楽器 ●実行委員会事務局

会場への交通のご案内

※詳しい情報をご希望の方は、下記事務局までお問い合わせください。



主催●'99 笛吹川国際音楽祭実行委員会 後援●山梨県・山梨県教育委員会・甲府市・甲府市教育委員会・山梨市・山梨市教育委員会・塩山市・塩山市教育委員会・牧丘町・牧丘町教育委員会・春日居町・春日居町教育委員会・三富村・三富村教育委員会・(財)山梨県県民文化振興協会・(財)山梨県公園公社・山梨日日新聞社・読売新聞社甲府支局・朝日新聞社甲府支局・毎日新聞社甲府支局・産経新聞社甲府支局・山梨新報社・共同通信社甲府支局・時事通信社甲府支局・NHK甲府放送局・山梨放送・テレビ山梨・テレビ朝日甲府支局・FM富士・FM甲府・(財)山梨県青少年協会・山梨県青少年団体連絡協議会・(財)山梨県国際交流協会・山梨YMCA・甲府YWCA・山梨県VYS連絡協議会 協力●日本ペーゼンドルフアー Bispendorfer HOTEL 春日居 フルーツパーク富士観光ホテル JR 東日本・株式会社 芝罘

お問い合わせ●実行委員会事務局/〒404-0054 塩山市藤木1883-1 (岐阜鍍金塗装工業所内) TEL・FAX:0553-33-4090 (竹川) ・〒405-0048 山梨市切差667-1 (縦横会) TEL・FAX:0553-23-4675・E-Mail:ffest@aqua.ocn.ne.jp 実行委員会東京事務局/TEL:03-3807-8831

この音楽祭の情報はインターネット上でもご覧になれます。http://www.freepage.total.co.jp/hasegawa/



FUEFUKIGAWA
FESTIVAL OF MUSIC

10/8 (金) 7:00 P.M.
甲府市総合市民会館

- クンメル : チェロ二重奏曲
チェロ: ヤンチャン・チョー、ウルリッゲ・シェーファー
- メノッティ : 組曲
チェロ: ヤンチャン・チョー、クリストフ・リヒター ピアノ: 橋本京子
- ピアッティ : セレナーデ ニ長調
チェロ: クリストフ・リヒター、ウルリッゲ・シェーファー ピアノ: 橋本京子
- ハイドン : ディヴェルティメント
チェロ: ウルリッゲ・シェーファー、クリストフ・リヒター、ヤンチャン・チョー
- ポッパー : レクイエム
チェロ: クリストフ・リヒター、ウルリッゲ・シェーファー、ヤンチャン・チョー ピアノ: 橋本京子
- クレングル : チェロ四重奏のためのヴァリエーションズ 作品15
チェロ: ナサニエル・ローゼン、ヤンチャン・チョー、ウルリッゲ・シェーファー、クリストフ・リヒター

10/9 (土) 6:00 P.M.
牧丘町民文化ホール 共催: 牧丘町教育委員会

- バビーニ : ヴィオラ四重奏曲
- シュールマン : ヴィオラ四重奏曲 "Night and Ancora"
ヴィオラ: チャールズ・キャッスルマン、トビー・ホフマン、カーステン・ジョンソン、ヤルン・ヴァウツウラ
- J. S. バッハ : ブランデンブルク協奏曲 第6番 変口長調 BWV.1051
ヴィオラ: チャールズ・キャッスルマン、トビー・ホフマン ヴィオラ (ヴィオラ・ダ・ガンバ): カーステン・ジョンソン、ヤルン・ヴァウツウラ チェロ: クリストフ・リヒター コントラバス: 田中洪至
- J. S. バッハ : シャコンヌ (チェロ四重奏版)
チェロ: ヤンチャン・チョー、クリストフ・リヒター、ウルリッゲ・シェーファー、ナサニエル・ローゼン
- ポッパー : ポロネーズ
- ロッシーニ : セビリアの理髪師序曲 (チェロ四重奏版)
- プロコフィエフ : "3つのオレンジへの恋"より行進曲 (チェロ四重奏版)
- プロコフィエフ : スケルツォ・ユーモレスク 作品12-9 (チェロ四重奏版)
チェロ: ナサニエル・ローゼン、ヤンチャン・チョー、ウルリッゲ・シェーファー、クリストフ・リヒター

10/11 (月) 6:30 P.M.
牧丘町民文化ホール 共催: 牧丘町教育委員会

- シューマン : ピアノ四重奏曲 変ホ長調 作品47
ヴァイオリン: 浦川宜也 ヴィオラ: カーステン・ジョンソン チェロ: クリストフ・リヒター ピアノ: 橋本京子
- フランク : ピアノ五重奏曲 ヘ短調
ヴァイオリン: チャールズ・キャッスルマン、コンラード・エレギアス ヴィオラ: トビー・ホフマン
チェロ: クリストフ・リヒター ピアノ: 橋本京子
- ドヴォルジャーク : 弦楽五重奏曲 第3番 変ホ長調 作品97
ヴァイオリン: チャールズ・キャッスルマン、コンラード・エレギアス ヴィオラ: トビー・ホフマン、カーステン・ジョンソン チェロ: ナサニエル・ローゼン

10/13 (水) 7:00 P.M.
山梨市民会館 共催: 山梨市・山梨市教育委員会・山梨市国際交流促進委員会

- ドヴォルジャーク : ピアノ五重奏曲 イ長調 作品81
ヴァイオリン: 浦川宜也、ヤルン・ヴァウツウラ ヴィオラ: トゥーバ・オズカン チェロ: ウルリッゲ・シェーファー ピアノ: リチャード・スタインバック
- コルンゴルト : ピアノ五重奏曲 作品15
ヴァイオリン: チャールズ・キャッスルマン、コンラード・エレギアス ヴィオラ: トビー・ホフマン
チェロ: ナサニエル・ローゼン ピアノ: リチャード・スタインバック

10/16 (土) 7:00 P.M.
笛吹川フルーツ公園 くだもの広場 共催: (財)山梨県公園公社

- ブラームス : 弦楽六重奏曲 第1番 変口長調 作品18
ヴァイオリン: チャールズ・キャッスルマン、コンラード・エレギアス ヴィオラ: トビー・ホフマン、トゥーバ・オズカン チェロ: ナサニエル・ローゼン、ウルリッゲ・シェーファー
- チャイコフスキー : 弦楽六重奏曲 ニ短調 作品70 「フィレンツェの思い出」
ヴァイオリン: チャールズ・キャッスルマン、コンラード・エレギアス ヴィオラ: トビー・ホフマン、ヤルン・ヴァウツウラ チェロ: ナサニエル・ローゼン、ウルリッゲ・シェーファー

※ 出演者の都合により曲目を変更する場合があります。

演奏者紹介



● チャールズ・キャッスルマン (ヴァイオリン・ヴィオラ) Charles Castleman (Violin-Viola)

ハーバード大学、カーティス音楽院、ペンシルヴァニア大学を卒業。その間、チャイコフスキー、ブリュッセル各コンクールに入賞している。ソリストとしてはボストン、シカゴ、ニューヨーク、フィラデルフィアなどのオーケストラと共演、また室内楽奏者としては、新ニューヨーク弦楽トリオを経て、1975年にラファエルトリオを結成、多くのレコーディングを行なっている。バックネル大学において、彼が設立した

カルテットのマスタークラスは25周年を迎えており、「最良かつ実践的なプログラムである」(ヨーヨー・マ)、「若きカルテット奏者たちのメッカ」(ガルネリ・カルテット)などの評価を得ている。イーストマン音楽院の教授として後進の指導に当たっているほか、ロンドン、東京、上海でもマスタークラスを持っている。



● コンラード・エレギアス (ヴァイオリン) Koenraad Ellegiers (Violin)

ヴァイオリニストである父親より手ほどきを受ける。その後アルトゥール・グリュミオー、ティボール・ヴァルガに師事。またシャンドール・ヴェーグ、ユーディー・メニューヒンのマスタークラスに参加し、各氏の薫陶を受ける。ソリストおよび室内楽奏者として、メニューヒン・グシュタード音楽祭、オーストラリア室内楽音楽祭ほか、世界各地の数多くの音楽祭より招かれている。教育者としては、イタリア、スイス、アルゼンチン、スペイン、韓国でマスタークラスを持ち、またエッセン音楽大学において長年室内楽クラスを受け持ってきた。



● 浦川宜也 (ヴァイオリン) Takaya Urakawa (Violin)

鈴木鎮一、小野アンナに師事し、1953年に音楽コンクール入賞。近衛秀麿に認められてデビューを果たす。1959年、西ドイツ給費留学生として渡欧。M. シュヴァルベ、W. シュトロスに師事。1964年、ミュンヘン国立音楽大学を首席最優秀賞で卒業。1965年、大指揮者J.カイルベルトに認められ、バンベルク交響楽団第一コンサートマスターに就任。1969年、ソリストとして独立。以来旧西ドイツを中心に、ヨーロッパ各国で演奏活動を行う。1979年、名ピアニスト、フランツ・ループとのベートーヴェン、ブラームスの全ソナタのレコーディングで注目をあつめる。1986年、ドイツ連邦共和国功労勲章一等功労十字章を贈られる。現在ソリストとして活躍するほか、東京芸術大学教授、数々の国際コンクール審査員を務める。



● ヤルン・ヴァウツウラ (ヴァイオリン・ヴィオラ) Jeroen Woudstra (Violin-Viola)

9歳よりヴァイオリンを始め、1985年オランダのユトレヒト音楽院に入学。P.ヒルシュホルン、綿谷恵子両氏に師事する。その後ヨーロッパ・モーツァルトアカデミーの奨学金を得、同アカデミーにおいてB. ベルガメンチコフ、A. シュマチェンコ、シャンドール・ヴェーグ、橋本京子の各氏より室内楽を学ぶ。現在室内楽奏者としてヨーロッパ各国の音楽祭などで活躍している。



● トビー・ホフマン (ヴィオラ) Toby Hoffman (Viola)

ジュリアード音楽院にてポール・ドトルに師事。ライオネル・ターティス国際ヴァイオリン・コンクールでサー・ジョン・バルビローリ賞受賞のほか、幾つかの国際コンクールに入賞。ソリストとしては、フィラデルフィア管弦楽団、アメリカ室内オーケストラ、ブラハ室内オーケストラ等々と共演。また、マールボロ、アスペン、モーストリー・モーツァルト、ザルツブルグなどの音楽祭に招待されている。室内楽奏者としてもアンドレ・プレビン、サルヴァトーレ・アッカルドとたびたび共演している。



● カーステン・ジョンソン (ヴィオラ) Kirsten Johnson (Viola)

3歳でヴァイオリンを始め、15歳でヴィオラに転向。17歳でシカゴ交響楽団と共演する。カーティス音楽院でマイケル・トゥリーに師事し、学位を取得。その後ジュリアード音楽院でサミュエル・ローズに師事。1997年のワシントン国際コンクール優勝のほか、幾つかのコンクールで優勝。室内楽奏者としても、マールボロ音楽祭をはじめ多くのフェスティバルに招かれ、'98-'99のシーズンには“ミュージック・フロム・マールボロ”ツアーに参加した。



● トゥーバ・オズカン (ヴィオラ) Tuba Özkan (Viola)

1987年アンカラ国立音楽院を最優秀で卒業。1987年から89年までアンカラ・プレジデンシャル・シンフォニック・オーケストラ、またアンカラ室内オーケストラのヴィオラ奏者として活動。1989年には、ドイツ政府給付奨学生として、ベルリン芸術大学に留学し、ブルーノ・ジュランナ教授に師事、最優秀で卒業。その後1991年までベルリン・ユンゲ・フィルハーモニー室内オーケストラの首席ヴァイオラ奏者。1998年よりイスタンブール国立管弦楽団のヴィオラ奏者、ボルサン室内オーケストラの首席ヴァイオラ奏者として活躍している。



● ヤンチャン・チョー (チェロ) Young-Chang Cho (Violoncello)

デヴィット・ソイヤー、ローレンス・レッサー、ジークフリート・バルム、ムスチスラフ・ロストロポーヴィッチに師事。ロストロポーヴィッチ、パブロ・カザルス、ミュンヘンの各コンクールに入賞。また二人の姉妹(ヤンミー・チョー、ヤンバン・チョー)とのピアノトリオでも、ジュネーブ、ミュンヘンの両コンクールに入賞している。ソリストとして、ロストロポーヴィッチ指揮のワシントン・ナショナル管弦楽団のほか、NHK交響楽団、ソフィア・フィルハーモニー等々のオーケストラと共演。1987年よりエッセン音楽大学教授として後進の指導に当たっている。



● クリストフ・リヒター (チェロ) Christoph Richter (Violoncello)

5歳でピアノを始め、8歳でチェロを始める。15歳でアンドレ・ナヴァラに師事し、その後ピエール・フルニエに師事してさらなる研鑽を積んだ。23歳の若さで北ドイツ放送交響楽団のソロ・チェロ奏者となり、7年間そのポストを務める。パリ・ロストロポーヴィッチ・チェロ・コンクール、ゲンフ音楽コンクール等々のコンクールで入賞。ソリストとしては、ミュンヘン・フィルハーモニー管弦楽団ほか、数多くのオーケストラと共演している。室内楽奏者としては、ケルビーニ弦楽四重奏団のメンバーとして活躍するほか、アンドラシュ・シフ、ハインツ・ホリガー、タベア・ツィンマーマン、ザビーネ・マイヤーなどとたびたび共演している。教育者としてはエッセン音楽大学教授の任にあり、後進の指導に当たっている。



● ナサニエル・ローゼン (チェロ) Nathaniel Rosen (Violoncello)

6歳でチェロを始める。12歳の時、伝説的なチェロ奏者ピアティゴルスキーに出会い、弟子となる。それは師が亡くなる1976年まで続いた。その間、ピアティゴルスキーはもとより、ヤツィヤ・ハイフェッツとも数多く共演している。彼のアメリカにおける最初の名声は、1977年、ナムブルグ・コンクールによって得られた。翌年、アメリカ人のチェリストとしてはじめてチャイコフスキー・コンクールに優勝(その後チェロ部門でアメリカ人の優勝者はいない)、その名声は世界的なものとなった。

以後、世界一流のオーケストラ(ニューヨーク・フィルハーモニック、チェコ・フィルハーモニック、ライプツィヒ・ゲヴァントハウスなど)にソリストとして招かれている。演奏家としてはもとより、教育者としても活動し、イリノイ大学を経て現在マンハッタン音楽院において後進の指導に当たっている。



● ウルリッके・シェーファー (チェロ) Ulrike Schäfer (Violoncello)

クルト・エンゲルト、ルドルフ・メツマヒャー、ウィリアム・ブリーズに師事。ドイツ国内外の数多くのコンクールに入賞(1970年、72年、74年西ドイツ学生コンクール、1980年パブロ・カザルス・コンクール、1982年チャイコフスキー・コンクール、1982年ARDコンクールなど)。また、ジャクリーヌ・デュプレ、ナタリア・シャホスカヤ、ムスチスラフ・ロストロポーヴィッチのマスタークラスに参加。現在、ケルンのギュルツニヒ管弦楽団(ケルン歌劇場管弦楽団)の首席チェリストを務めるかわら、ソロ、室内楽に幅広く活躍。



● 田中洪至 (コントラバス) Hiroshi Tanaka (Contrabass)

東京芸術大学音楽学部卒業。東京フィルハーモニー交響楽団首席コントラバス奏者を経て、1974年ウィーンへ留学。オーストリア国営放送管弦楽団、同時にウィーン室内オペラ座オーケストラを経て1981年帰国。室内楽奏者としてもウィーン、ザルツブルクをはじめとするヨーロッパ各地の音楽祭に参加。現在、「東京カンマー・コレゲン」代表。



● 橋本京子 (ピアノ) Kyoko Hashimoto (Piano)

東京生まれ。アムステルダムに住み、欧米を中心に活躍するピアニスト。桐朋学園大学を卒業後、スイスのメニューヒン国際アカデミーに留学。その後、インディアナ大学、ジュリアード音楽院で研鑽を積む。1985年より活動の本拠をヨーロッパに移す。国際フランス音楽コンクール1位大賞と聴衆賞、1980年ブダペスト国際音楽コンクールで最優秀伴奏者賞、1988年にはシュポア国際コンクールでピアニスト賞受賞。定期的にヨーロッパ各地で演奏会を行なう一方、室内楽アンサンブルを主宰し、高い評価を得ている。世界の著名な国際音楽祭に招待されて演奏し、国際コンクール公式伴奏者としても評価されている。多くの一流演奏家とも多数共演。現在、演奏活動のかかわら、ユトレヒト音楽院、ブラハ国際室内楽アカデミー、ポーランドのクラコフ・モーツァルト・アカデミーにおいて、若手演奏家の指導に当たっている。



● リチャード・スタインバック (ピアノ) Richard Steinbach (Piano)

コロラド大学、イーストマン音楽院を卒業。アイオワ大学において博士号(音楽芸術)を取得。1995年、フランス国際ピアノ音楽祭においてグランプリを受賞。1996年、パリのサル・コルトーでソリストとしてデビュー後、アメリカ各地でリサイタルおよびオーケストラと共演。1998年6月には文化交流使節として中華人民共和国および日本(山梨市)で9回のリサイタルを開く。現在アイオワ州スーシティーのブライアー・クリフ大学の教授として後進の指導にも当たっている。

箏吹川 国際 音楽祭 '99 10/8~16

今年の秋も世界各地から優れた演奏家たちが集い、「'99箏吹川国際音楽祭」が開かれます。箏吹川沿いの市や町で、卓越したクラシック音楽の演奏をお楽しみいただくことができます。

このたびの演奏に用いられる弦楽器は、そのすべてが、当地在住の弦楽器作家の手になるものです。つまりこの音楽祭は、世界各地で活躍する山梨生まれの楽器たちの里帰りでもあるのです。その点において、この音楽祭は世界でもほかに例を見ないものだといえることができます。

源流に子酉川(音取り=チューニング)、支流に琴川、鼓川を有する箏吹川の流域、この地ほど音楽祭にふさわしい名を持つところはないのではないのでしょうか。

秋の夜、みなさまといっしょに素晴らしいひとときを創り出し、共有することができるこの音楽祭が、地域の文化に寄与するものとなることを願うものです。

'99箏吹川国際音楽祭実行委員会